

実務経験のある教員による授業科目（医学部：単位制を採用していない）

科目名	実務経験を活かした教育の取組	医
社会医学_医学情報学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
社会医学_社会における医師の役割	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
総合医学・行動科学_医師になる道1-1：医師の職責と社会的役割	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
感染微生物_細菌学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
感染微生物_ウイルス学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
免疫学_免疫学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
総合医学・行動科学_名古屋市の医療と地域包括ケア（仮）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
総合医学・行動科学_医師になる道2-2：行動科学とEBMの基礎	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
病理学_病態病理	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
病理学_臨床病理	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
感染微生物_ウイルス学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
免疫学_免疫学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
総合医学・行動科学_医師になる道3-2：チーム医療と医療安全	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
研究能力養成_先端医学ユニット	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
地域医療学_医師になる道3-3：コミュニティ・ヘルスケア応用	医薬看護学部の教員が臨床・指導経験から講義・実習を担当する。	○
臨床医学_血液・造血リンパ系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_神経系（神経内科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_神経系（脳神経外科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_皮膚学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_運動器系・リハビリテーション	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_循環器系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_呼吸器系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_消化器系・内視鏡	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_腎・尿路系（腎臓内科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_腎・尿路系（泌尿器科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_生殖機能（泌尿器科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_生殖機能（婦人科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_妊娠と分娩	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_乳房	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_内分泌・栄養・代謝系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_眼・視覚系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_耳鼻・咽喉・口腔系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_精神系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_臨床感染症学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_成長と発達/発生	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_麻酔医学・集中治療医学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_食事と栄養療法	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_放射線を用いる診断と治療	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_輸血と移植	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_膠原病	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_臨床腫瘍学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_救急科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_東洋医学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_疼痛医学（痛みと行動科学）ユニット	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床能力養成_臨床診断推論	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床能力養成_基本臨床技能演習	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床能力養成_臨床処方学	薬剤師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床能力養成_医師になる道4-2：クリニカル・エッセンシャルズ	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
地域医療学_医師になる道4-1：コミュニティ・ヘルスケア発展	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_消化器内科・肝臓内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_消化器外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_呼吸器内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_呼吸器外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_脳神経内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_脳神経外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_内分泌糖尿病内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_循環器内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_心臓血管外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_麻酔科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_臨床薬剤部	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_血液・腫瘍内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_病理診断部	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_臨床検査部	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_整形外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_リハビリテーション科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_乳腺外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_耳鼻咽喉科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_口腔外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○

実務経験のある教員による授業科目（医学部：単位制を採用していない）

科目名	実務経験を活かした教育の取組	医
臨床実習_放射線科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_泌尿器科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児泌尿器科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_皮膚科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_形成外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_膠原病内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_医療安全	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_腎臓内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_臨床研究	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_産科婦人科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_眼科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_感染症内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床能力養成_医師になる道5：スチューデントドクターズデイ	医師だけでなく医療系多職種が学生の指導を担当する。	○
臨床実習_消化器内科・肝臓内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_消化器外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_呼吸器内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_呼吸器外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_循環器内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_心臓血管外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_脳神経内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_脳神経外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_産科婦人科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_総合診療科・総合内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_救急科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_放射線科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_内分泌・糖尿病内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_膠原病内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_血液・腫瘍内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_腎臓内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_乳腺外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_整形外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_リハビリテーション科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_精神科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_眼科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_耳鼻咽喉科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_皮膚科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_泌尿器科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_麻酔科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_形成外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_口腔外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児泌尿器科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_緩和ケア部	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_病理診断部	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_環境労働衛生学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_感染症内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0
学部等共通科目	0
専門科目	0
単位数合計	0

【教養教育科目】

全学共通科目	30
学部等共通科目	29
専門科目	0
単位数合計	59

【合計】

全学共通科目	30
学部等共通科目	29
専門科目	0
単位数合計	59

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	修得電算
自治看護援助論	1	高齢者の看護業務と助産業務および助産師教育に関わった教員が教授する。	○
自治看護学実習	2	臨床実習指導者が学生担当として看護実践における指導を行う。(遠征型一泊日単位で交代)臨床経験をもつ教員が臨場において看護過程に基づいて臨床的実習指導者と連携して指導を行う。	○
保健統計分析	2	実務データの分析実績のある教員が実務に関連した内容の演習を行う。	○
保健医療福祉行政論Ⅰ	2	本科目の非労働協定、県立保健所、県立保健所の管理職を含めた保健師経験、政令市保健所での環境衛生業務、市衛生研究所所長等の経験をもつ方々であり、学生にとっては、講師陣の豊富な活動経験から、保健医療福祉行政および内閣・外閣から見た保健師活動について学ぶ機会となる。	○
保健医療福祉行政論Ⅱ	1	行政機関などで公衆衛生看護活動に関わった教員が講義する。	○
保育所・学校等における医療的ケア実習	2	保育、学校教育、保育・学校看護、保育・学校保健、小児看護、小児保健、小児看護、小児診療、小児リハビリテーション等に関わった経験のある講師陣により講義を行う。	○
看護実習	1	各領域の看護業務に関わった経験のある教員による教授とする。	○
看護研究Ⅰ	2	各指導教員が、それぞれの実務経験を活かして研究指導を行う。	○
看護研究Ⅱ	2	各指導教員が、それぞれの実務経験を活かして研究指導を行う。	○
看護実践システム論	1	担当教員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多量課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本講義および演習を行う。さらに、特定機能病院の看護管理職(看護部長・看護部長)が看護マネジメントの実務を教授する。	○
看護実践システム論Ⅱ	2	担当教員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多量課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本実習を行う。	○
看護学総合実習	2	各担当教員が専門性を生かして教授する。	○
災害看護援助論	2	- 災害救命救急、二次救命救急等の災害医療業務に関わった医学部教員が講義する。	○
急性期看護学実習	2	急性看護、クリティカルケア業務に関わった教員と実習指導者が、実習指導する。	○
公衆衛生看護学論Ⅰ	2	非労働協定の二人は、愛知県、名古屋市にて保健師の職務がシフトを経験された方です。個別実習のみならず、講義・管理職的な保健師活動を実際例から教授いただきます。	○
公衆衛生看護学論Ⅱ	2	保健師国家試験受験資格取得科目の最後に位置づけられる科目として、担当教員それぞれの保健師活動や現在の研究取り組みを取り入れた教育内容となるよう、講義を行う。	○
コミュニティ・ヘルスケアⅡ	2	医師、薬剤師、看護師としての実務経験を有する教員および外部講師がそれぞれの職種の特徴を講義する。	○
高齢者看護学総合実習	1	医療機関および介護施設等で高齢者看護の実務経験のある教員が指導する。	○
高齢者看護学実習	1	医療機関における高齢者看護の実務経験のある教員が指導する。	○
公衆衛生看護学論Ⅰ	2	行政機関や企業等において保健師として実務に関わった教員が講義する	○
公衆衛生看護学論Ⅱ	2	行政機関や企業等で保健師の実務に関わった教員が講義する	○
公衆衛生看護学論Ⅲ	1	企業において保健師、学校において看護教諭として実務に関わった教員が講義する	○
公衆衛生看護学Ⅱ	1	行政機関などで公衆衛生看護活動に関わった教員が講義する。	○
公衆衛生看護学実習Ⅰ	2	行政機関や企業等において保健師として実務に関わった教員が指導する。また、実習施設では実習指導者から指導を受ける。	○
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3	行政機関や企業等において保健師として実務に関わった教員が指導する。また、実習施設では実習指導者から指導を受ける。	○
慢性期看護学実習	2	- 慢性疾患看護やがん看護の実務経験のある教員が指導する。 - 慢性疾患看護やがん看護の実務経験のある実習指導者が指導する。	○
リハビリテーション看護論	1	臨床における実務経験のある教員が実践での経験を活かしながら教授する。	○
災害看護論	1	医療管理リスクおよび防災士からの視点、被災地での活動経験を活かした、被災者支援のあり方を教授される。	○
精神看護学実習	2	医療機関及び精神科リハビリテーション施設で看護職として実務経験のある教員が指導します。	○
小児看護援助論	1	小児看護業務に関わった経験のある教員による教授とする。	○
国際看護援助論	1	消化器・胸部・心臓血管外科看護、手術室、集中治療室、救急等の業務に関わった教員が、国際看護について講義する。	○
小児看護学実習	2	小児看護業務に関わった経験のある教員が教授する。	○
多文化医療実習	2	日本国内および海外において保健医療職者として実務に関わった教員が指導する。また、実習施設では実習指導者から指導を受ける。	○
地域・在宅看護論	2	看護師・保健師の実務経験を有する教員による授業である。	○
チーム医療と医療安全	1	看護師(保健師、助産師等)の実務を有し、第3次医療機関や地域施設での看護及び看護教育の実務に携事した教員を含め、担当する。	○
地域診断方法論	2	保健師として地域診断とそれに基づく保健活動に関わった実務経験を有する教員が担当する。	○
在宅看護学実習	2	担当する教員は全員、看護師または保健師の実務経験を有する。在宅看護学を学ぶために必要な基本的な在宅看護とその連携活動について、その中での看護職のあり方について、実践をもとに教授できる。	○
災害医療支援看護学	2	災害看護学専攻の教員は看護師、保健師、助産師の国家資格をもち、高校、短期大学、大学で教員経験40年以上を有する。臨床での実務は1200時間以上の大学病院で9年の実務経験(ICU、小児科、内科外科総合病棟では副看護長)を有する。さらに助産師では40分の臨床を有する。他大学で国家試験対策委員長として4年間、担当してきたので国家試験対策の知見と技術はある。災害看護学専攻の教員は助産師としての実務経験があり、看護・研究を行っている。これらの経験を活かして本講義を行う。	○

【専門教育科目】	
全学共通科目	0
学部専攻共通科目	52
専門科目	0
単位数合計	52

【保健教育科目】	
全学共通科目	30
学部専攻共通科目	30
専門科目	2
単位数合計	62

【合計】	
全学共通科目	30
学部専攻共通科目	92
専門科目	2
単位数合計	124

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	保羅リハ
解剖学Ⅰ	2	作業療法士として医療機関、教育機関での勤務経験があり、解剖学の研究に携わっている教員が講義を行う。	○
解剖学Ⅱ	2	作業療法士として医療機関、教育機関での勤務経験があり、解剖学の研究に携わっている教員が講義を行う。	○
生理学Ⅰ	1	国内外の研究施設での研究経験を持つ教員が、最先端の細胞生物学研究で得られた知見を交えながら生理学の講義を行います。特に細胞機能、シグナル伝達、筋骨格系、神経系の分野において、実験研究から得られた具体的な事例を用いて、生理学の基本原則をより深く理解できるように指導する。	○
人間発達学	1	作業療法士として医療領域（病院における小児リハビリテーション）・福祉領域（児童発達支援/放課後等デイサービス）・教育領域（学校作業療法）等で実務経験を有する教員が講義を実施する。	○
生理学Ⅱ	2	国内外の研究施設での研究経験を持つ教員が、最先端の細胞生物学研究で得られた知見を交えながら生理学の講義を行います。特に細胞機能、シグナル伝達、筋骨格系、神経系の分野において、実験研究から得られた具体的な事例を用いて、生理学の基本原則をより深く理解できるように指導する。	○
生理学実習	2	理学療法士・作業療法士としての臨床経験、及び、研究経験を持つ教員が、最先端の知見を交えながら生理学実習を行います。特に、運動機能の評価やリハビリテーションの実践に関する具体的な事例を交えながら、理論と実践の両面から理解を深める内容とします。	○
運動学実習	2	理学療法士・作業療法士としての経験を活かした授業である。	○
内科学	2	医師としての臨床経験を有する教員が、実際の診療およびリハビリテーション連携の経験を踏まえ、臨床現場を想定した講義を行う。	○
病理学	1	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する	○
脳神経科学	2	種別1：脳神経疾患の診療に取り組んできた神経内科専門医の医師らが、実務経験を生かして、共著した教科書を使用し行う授業である。	○
整形外科	2	臨床経験を生かした講義	○
小児科学	1	医師としての臨床経験を持つ教員が講義・実習を担当する。	○
精神医学	1	医師としての臨床経験を持つ教員が講義・実習を担当する。	○
感覚器学	1	耳鼻咽喉科および皮膚科の臨床業務に携わる教員が、本講義を担当する。	○
救命救急学	1	現役医師の経験を活かした臨床感のある授業である	○
臨床薬理学	1	臨床経験を生かした講義	○
臨床栄養学	1	担当教員の仲森は管理栄養士養成大学で教鞭をとる以前、慶応義塾大学伊勢原校で管理栄養士としての実務に携わった。その折、疫学調査に20年間参加し、調査対象の住民の生活習慣、食習慣が疾病の発現にどのように関与しているかを研究した。これらの経験を活かした講義を実施する。	○
リハビリテーション概論	1	リハビリテーション関連職種として医療機関、教育機関での勤務経験のある教員が講義を行う。	○
社会医療論	1	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かした授業	○
IPW論	1	学生が立案した計画に対し、実務経験に基づいた具体的なフィードバックや事例提示を行うことで、医療現場における最新の課題意識に対応できる実践的能力を育成する。	○
基礎理学療法学セミナーⅠ	1	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が、実務経験を活かした臨床現場の実態や研究活動の意義について具体的に指導する。また、研究者としての活動経験を持つ教員が、実際の研究プロセスや学術的コミュニケーションの実践的スキルについて指導する。	○
基礎理学療法学セミナーⅡ	2	本科目は、理学療法士および研究者としての実務経験を有する教員が、臨床および医学研究の学際不可欠なアカデミックリテラシー・コミュニケーションについて指導する。また、3年生以降に履修する理学療法研究方法論や卒業研究を円滑に行うために必要な学習基盤を養う場とする。	○
医療統計学Ⅰ	2	リハビリテーション研究や臨床研究における実際の統計活用例を踏まえ、研究課題に応じた統計手法の選択、結果の解釈、論文読解の実践的視点を交えながら指導する。	○
基礎作業療法学セミナーⅠ	1	作業療法士としての臨床経験を踏まえ、作業活動の捉え方、対象者への適用、作業分析の視点について具体例を交えながら指導する。また、臨床場面・研究場面における作業療法の事例を少人数ゼミナール形式で紹介する。	○
基礎作業療法学セミナーⅡ	2	1. 病院での臨床経験を持つ教員が、基礎作業学実習に関する実際の経験を基に講義する。 2. 急性期から生活期におけるクライアントに対する多様な作業活動の提供経験を基に授業を展開する。 3. 作業療法分野において、作業科学を臨床研究テーマとした経験を有する教員が指導を行う。	○
作業療法学理論	1	作業療法士として医療領域（病院における小児リハビリテーション）・福祉領域（児童発達支援/放課後等デイサービス）・教育領域（学校作業療法）等で実務経験を有する教員が講義を実施する。	○
理学療法学概論	1	担当教員は理学療法士として急性期から回復期における病院で実務に携わっている。本講義では、臨床での経験を活かした講義を実践する。	○
理学療法学概論	1	担当教員は理学療法士として急性期から回復期における病院で実務に携わっている。本講義では、臨床での経験を活かした講義を実践する。	○
作業療法学概論	1	作業療法の業務に携わった教員が担当する。	○
理学療法評価学Ⅰ	2	本科目は臨床経験のある教員が担当する。	○
体表解剖学	2	患者に対して臨床経験のある教員が講義を担当する。	○
身体障害作業療法評価学演習	1	作業療法士としての臨床経験を踏まえ、身体障害に対する評価の実際、評価結果の解釈、臨床推論へのつなげ方を具体的に指導する。また、実際の症例データを用いて、臨床場面を想定した実践的な学修を行う。	○
精神障害作業療法評価学演習	1	精神障害領域の作業療法業務に携わった教員が担当する。	○
発達障害作業療法評価学演習	1	発達障害領域の作業療法業務経験のある教員が、講義を行います。	○
運動療法学概論	1	リハビリテーション関連職種として医療機関、教育機関での勤務経験のある教員が講義を行う	○
義肢装具学	2	リハビリテーション関連職種として医療機関、教育機関での勤務経験のある教員が講義を行う	○
リハビリテーション工学	1	工学分野の方々と連携した経験があり、歩行解析や上肢動作解析の経験が豊富な教員が、講義を行います。	○
精神障害作業療法治療学	1	精神障害領域の作業療法業務に携わった教員が担当する。	○
発達障害作業療法治療学	1	発達障害領域の臨床経験のある教員が講義を行います。	○
日常生活活動支援学	1	作業療法士として医療機関、教育機関での勤務経験があり、ADL評価や介入の経験がある教員が講義を行う。	○
地域作業療法学	1	地域での作業療法の臨床経験のある教員が講義を行います。	○
臨床実習Ⅰ（見学）	1	リハビリテーション関連職種として医療機関、教育機関での勤務経験のある教員が講義を行う。	○
臨床実習Ⅰ（見学）	1	臨床実習指導者は作業療法士としての臨床経験を活かし、実習を指導する。担当教員は作業療法士の実務経験を活かし、実習の準備や振り返りの場面で実務の視点を取り入れて指導する。	○

【専門教育科目】	
全学共通科目	0
学部等共通科目	57
専門科目	0
単位数合計	57

【教養教育科目】	
全学共通科目	30
学部等共通科目	29
専門科目	0
単位数合計	59

【合計】	
全学共通科目	30
学部等共通科目	86
専門科目	0
単位数合計	116